

平成 30 年度

かぶらぎ

# 蕪木遺跡 発掘調査だより 9月

平成 30 年 9 月 7 日  
阿賀野市 生涯学習課  
株式会社 帆 苺 組

## 1. はじめに

7 月から始まった発掘調査も 2 か月が過ぎました。今年の夏は連日暑い日が続きましたが、天候に恵まれたこともあって、調査はほぼ順調に進んでいます。現在は A 区の調査が佳境を迎え、少しずつ遺跡のようすが見えてきました（写真 1・2）。

今回は、「現在の調査状況」、「土壌洗浄について」、「大学生の研修・一般公開の準備」についてお伝えします。

なお、この発掘調査だよりは市のホームページ

「<http://www.city.agano.niigata.jp/soshiki/gakushu/23743.html>」でも公開しています。あわせてご覧ください。



写真 1：現在の調査区の様子

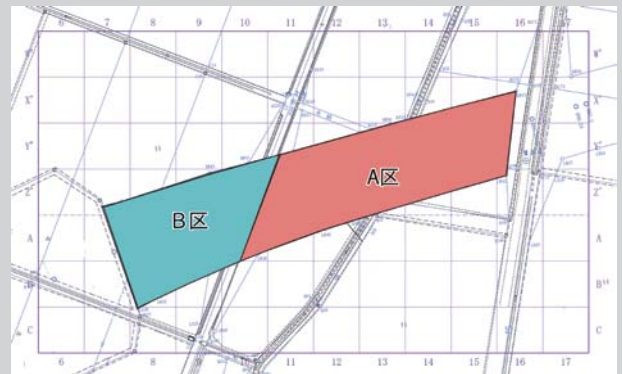


写真 2：調査区の名称

## 2. 現在の調査状況

A 区では、これまでに 130 基もの遺構が見つかりました。このうち、7 割以上が「ピット」と呼ばれるもので、建物の柱穴になる可能性があります。このことを裏付けるように、ピットには、柱痕や柱材が残るものも見られません（写真 3）。

現在、柱材が残るピットは 3 基見つかっていますが、残念なことにこれらと組み合わせるピットは見つかっていません。今後、周辺をもう一度よく探したいと思います。A 区では、このほか 2～3 棟の建物が存在したと考えられています。

A 区中央では、たくさん土器が集中する地点の調査が続いています。厚く堆積する黒い土を取り除くと、写真 4 のように土器がまとまって出土しました。土器の下には遺構もあるようです。詳細は、次号でご報告できると思います。

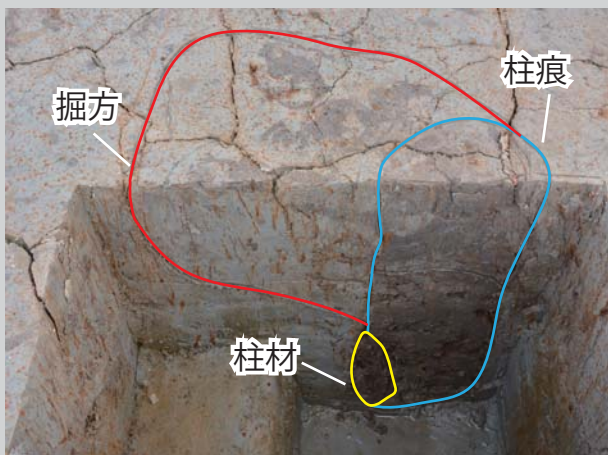


写真 3：柱痕と柱材が残るピット



写真 4：A 区中央の遺物集中地点

### 3. 土壌洗浄について

先月号でもお伝えしたように、A区中央に堆積する黒い土は、土のう袋に入れて持ち帰り、8月末から土壌洗浄を行っています（写真5）。

土をザルに入れて洗うと、炭化物など様々な微細なものが残ります（写真6）。回収した土のう袋は500袋もあります。作業は始まったばかりですが、今のところ、種実・種子などは見つかっていません。今後の作業で、種実・種子のほか魚の骨などが見つかることが期待されます。



写真5：土壌洗浄作業の様子



写真6：洗浄後の残存物

### 4. 大学生の研修・一般公開の準備

8月20日（月）～24日（金）の5日間、神奈川県鶴見大学文学部文化財学科3年の学生が研修に来ました。市内大室出身の間野さんは、将来文化財関係の仕事に携わりたいと、大学で勉強しています。ベテラン作業員さんたちからアドバイスをもらいながら、遺構の掘り方・図面の作成、出土遺物の洗浄作業などの研修に取り組みました（写真7）。

蕪木遺跡では、9月10日（月）～15日（土）の5日間、遺跡を一般公開します。ふだん見ることができない発掘調査現場の作業の様子、たくさん出土している土器などをご覧ください。また、現場事務所1Fにはミニ展示室を開設しました。蕪木遺跡からの出土品・写真パネルのほか、昨年度に発掘調査を実施した、村北遺跡（福田）、砂田遺跡（堀越）の出土品・写真パネルもあわせて展示します。

現在、みんなで展示の準備をしています（写真8）。お気軽にお出かけください。お待ちしております。



写真7：大学生の研修の様子



写真8：一般公開の準備作業